



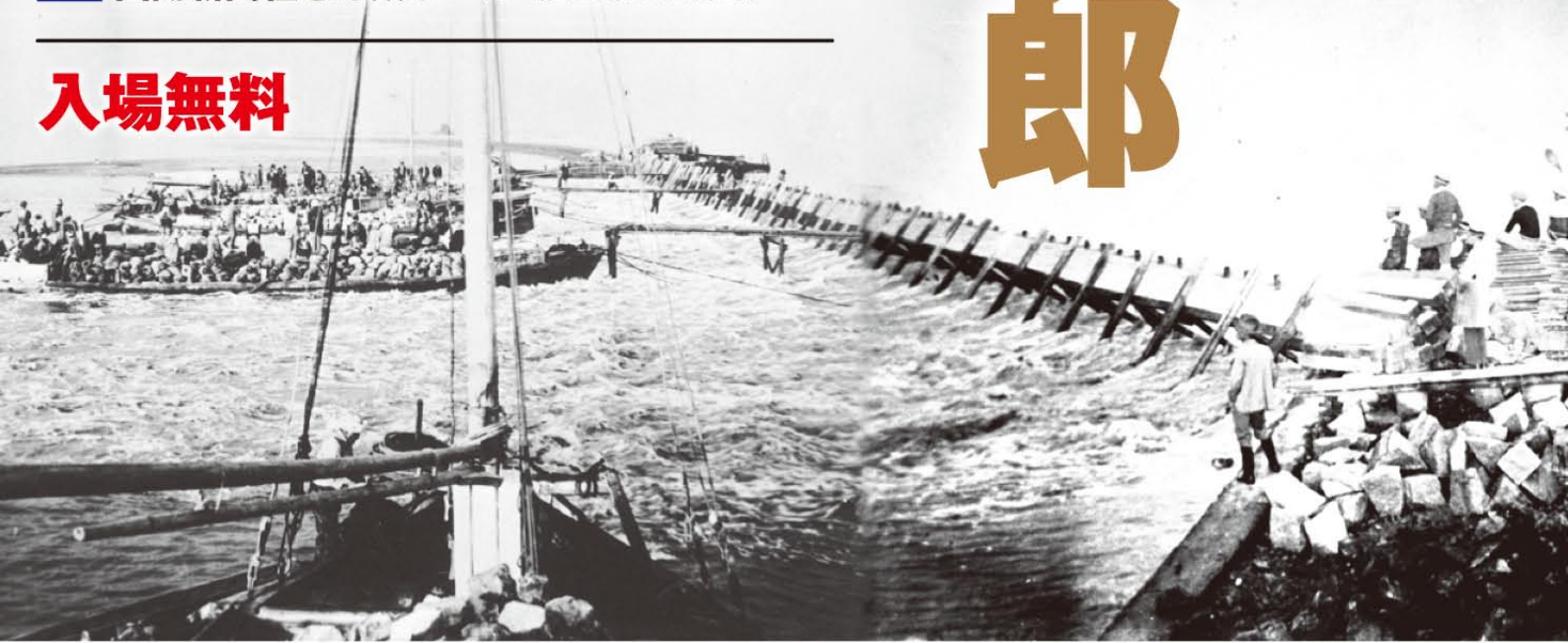
オランダ技術で海を割った男

杉山岩三郎

日時 平成28年11月25日(金) 午後2時~4時30分

場所 山陽新聞社さん太ホール (岡山市北区柳町)

入場無料



児島湾干拓埋め立て工事 (岡山県立興陽高校蔵)

基調講演

「オランダ技術の国内・岡山への影響」

九州大学百年史編集室助教 市原 猛志

パネルディスカッション

- パネリスト
- 九州大学百年史編集室助教 市原 猛志
- 岡山大学大学院准教授 樋口 輝久
- 岡山県立記録資料館前館長 在間 宣久

コーディネーター
産業考古学会会長 伊東 孝



市原 猛志



樋口 輝久



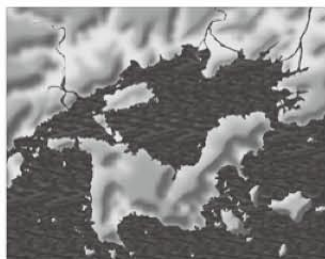
在間 宣久



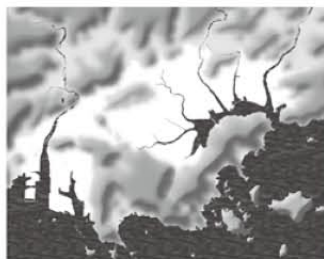
伊東 孝

岡山藩監軍として奥羽函館戦争にも参戦した杉山岩三郎(1841~1913)。廃藩置県後は下野し、産業革命後の欧米を隈なく視察する。そして士族授産事業を積極的に進めていくが、中でも杉山が手がけた杉山開墾(2番開墾=JR妹尾駅南)は、熊沢蕃山から津田永忠に継承された近代児島湾干拓の先駆けとなった。膨大な予算を伴う干拓はその後、国の直轄となるが、今度は調停役となり、国委嘱の工師ムルデルを迎えてオランダ技術を取り入れた干拓事業を推進する。

その一方で杉山は、宇野線開業の14年も前、現在の児島湾締切堤防付近を通して都市部岡山と天然の良港宇野を直結する鉄道計画を描いている。まさに、海を割るこの開発計画は、県南地域の一体的な開発を見据えたものであった。



平安時代ごろの海岸線



現在の海岸線



オランダ工師 ムルデル (明誠学院高校蔵)



杉山開墾記念碑 (岡山市南区内尾)

シンポジウムでは、産業遺産、土木技術、近代史が専門の4人の研究者を招き、杉山が端緒を開いた児島湾干拓事業や港湾・河川の改修に至るオランダ技術の成果と近代化遺産の今日的意義を問う。

出演者プロフィール

九州大学百年史編集室助教 **市原 猛志** (いちばら たけし)

1979年北九州市八幡生まれ。博士(工学)。専門は、近代建築を中心とした産業遺産の保存と活用、産業考古学・産業技術史。現在、九州伝承遺産ネットワーク理事、北九州市門司麦酒煉瓦館館長などを務める。著書に、「産業遺産を歩こう」「福岡の近代化遺産」「日本炭鉱都市」など。

岡山大学大学院准教授 **樋口 輝久** (ひぐち てるひさ)

1972年鳥取県生まれ。博士(学術)。専門は土木史。主に、土木遺産の保存と活用、土木技術の発達史を研究。吉井水門、建部井堰など、地域資産の発掘とそれらを活かしたまちづくりを地域住民と協同で実施。著書に、「岡山県の近代化遺産」「日本の土木遺産~近代化を支えた技術を見に行く~」など。

岡山県立記録資料館前館長 **在間 宣久** (ありまの ぶひさ)

1945年備前市生まれ。専門は近現代史。主に、岡山県の鉄道を中心とした交通・流通史について研究。これまでに岡山県史編纂室、岡山大学・川崎医療福祉大学の非常勤講師などを歴任。著書に、「岡山県史」「岡山市百年史上・下」など。

産業考古学会会長 **伊東 孝** (いとう たかし)

1945年東京都生まれ。工学博士。専門は都市計画・景観工学・土木史。現在、内閣府「稼働資産を含む産業遺産に関する有識者会議」委員、日本ICOMOS「技術遺産小委員会」主査などを務める。著書に、「東京再発見-土木遺産は語る」「日本の近代化遺産-新しい文化財と地域の活性化」など。

ご希望の方には「優待席」をご用意します。
この用紙のままFaxでお申し込みください。

10月31日(月)締切

お名前
(企業名)

〒

ご住所

申込人数

※2名までとさせていただきます。

ご連絡先
(電話など)

fax **086-225-5046**

優待席お申込は、ハガキ、e-mailでも受け付けます。

- ◆e-mail nichiran@rsk.co.jp
- ◆ハガキ宛先 〒700-8580 山陽放送内(公財)山陽放送学術文化財団
- ◆複数応募不可

希望者多数の場合は抽選とさせていただきます。

「優待席のご案内」はハガキでお知らせします。
お問い合わせは 公益財団法人 山陽放送学術文化財団【tel 086-225-5531】

岡山蘭学の群像 第7回予定

くはら こうさい
「久原 洪哉」

奥方の乳がんを除去
麻酔手術に挑んだ蘭学者たち

平成29年4月13日(木)
山陽新聞社さん太ホール

「岡山蘭学の群像1」

おイネ(楠本いね)、宇田川榕菴、
緒方洪庵。

先人のあくなき探究心と
歴史のダイナミズムがここに!

定価:1400円(本体)+(税)

お求めは、お近くの書店で!



A5判